

一般社団法人 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
2025 年度 定時代議員総会議事録

日 時：2025 年 10 月 23 日（木）16：25～17：55

会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター B 会場（メインホール A）

形 式：会場ならびに Zoom オンラインの併用

代議員数：214 名

出席者数：208 名（本人出席 132 名、委任状出席 76 名）

出席理事：安藤守秀、石井誠、大平徹郎、桂秀樹、川山智隆、黒澤一、神津玲、佐野裕子、
塩田智美、関川清一、竹川幸恵、田邊信宏、田平一行、玉木彰、中西徳彦、
中野恭幸、仲村秀俊、中山勝敏、花岡正幸、平井豊博、福家聡、堀江健夫
（計 22 名）

欠席理事：権寧博、長谷川智子、松本久子（計 3 名）

出席監事：岩永知秋、陳和夫、長谷川好規（計 3 名）（五十音順、敬称略）

議事開始について：

理事のうち、安藤守秀、石井誠、大平徹郎、桂秀樹、川山智隆、黒澤一、神津玲、佐野裕子、
関川清一、竹川幸恵、田邊信宏、田平一行、玉木彰、中野恭幸、仲村秀俊、花岡正幸、福家聡、
堀江健夫の各氏ならびに監事の陳和夫、長谷川好規氏は会場にて出席、理事のうち塩田智美、
中西徳彦、中山勝敏、平井豊博の各氏ならびに監事の岩永知秋氏は Zoom にて出席した。

代議員 168 名は会場にて出席（委任状参加者 76 名含む）、代議員 40 名は Zoom にて出席した。

定款第 17 条により議長には黒澤理事長がついた。また、本代議員総会の成立条件である定足数に
ついては、定款第 19 条第 1 項により「代議員総会の決議は、総代議員の議決権の過半数を有する代
議員が出席し、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって行う」となっており、総代議員数 214
名の過半数である 108 名（委任状含む）の出席が必要であるが、本日の総会は、代議員出席者 208
名（委任状提出者 76 名含む）であり、過半数の 108 名を上回った。

よって本代議員総会は有効に成立し、以下の議案について随時審議した。

第 1 号議案 議事録署名人の選任について〔審議事項〕

定款第 23 条により、「代議員総会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成
する。議長および代議員総会において選任された議事録署名人 1 名は前項の議事録に記名捺印する」
とあり、桂秀樹理事が推薦され承認された。

第 2 号議案 学術集会について〔報告事項・審議事項〕

第 35 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会について、大平徹郎会長より議案書 1 頁
以下に記載の通り、特別講演・スポンサード招請講演・教育講演等のプログラム数や内容の紹介等
準備状況の報告があった。一般演題は 303 演題とのこと。

第 36 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会について、仲村秀俊会長より 10 頁に記載の通り、開催準備状況の報告があった。

第 37 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会について、花岡正幸会長より、11 頁記載の会期について、2027 年 11 月 5 日（金）～6 日（土）において資料に記載はないが長野県軽井沢町のホテルならびに会議施設にて開催したいとの報告があった。会場の正式予約が完了していないので会場については資料には記載できない旨口頭にて説明があった。

第 39 回学術集会会長には、2025 年 8 月 23 日に開催した理事会で川山智隆先生が推薦されたことが報告され、本会に諮った結果承認された。

第 3 号議案 学会賞・学会奨励賞受賞について〔審議事項〕

学会賞選考委員会の大平委員長より、12 頁に記載の選考結果について報告がなされた。学会賞応募 1 件、学会奨励賞応募 1 件で、学会賞授賞者は原則 1 件との申し合わせに従い審議した結果、基準点を満たしたため、1 名を決定した。また、学会奨励賞授賞者については、平均点 3.5 点以上で、原則 3 名以内を踏まえ審議した結果、基準点を満たしたため 1 名を決定した。申し合わせにより、理事会の 3 分の 2 以上の多数決により審議した結果、承認可決されたことを受けて、本会に付議された。本会での審議の結果承認されたので受賞者を以下に記載する。

【学会賞 1 名】

・酒井 康成（信州大学医学部付属病院リハビリテーション部）（個人）

【学会奨励賞 1 名】

・新國 悦弘（東北大学病院診療技術部リハビリテーション部門）（個人）

第 4 号議案 医療の質特別賞受賞について〔報告事項〕

診療報酬適正化委員会/堀江委員長より、12 頁に記載の選考結果について報告があった。演題登録数 303 件、二次選考対象演題数 61 件で、委員会での選考を経て以下に記載の候補者を理事会において決定したことを受けて、本会に報告された。

受賞者を以下に記載する。

〔呼吸リハビリテーション領域〕

演題名：特発性肺繊維症患者を対象とした 1STST における 6 分間歩行距離 400m 以下のカットオフ値の検討

筆頭演者名：武村 裕之（松阪市民病院リハビリテーション室） 職種：理学療法士

〔酸素療法・呼吸管理領域〕

演題名：当院のネーザルハイフロー患者における緩和的使用状況について

筆頭演者名：小野 昭浩（桐生厚生総合病院） 職種：医師

〔疾病管理領域〕

演題名：肺癌術後新たにサルコペニアを発症した症例の術前因子および肺機能との関連

筆頭演者名：浅地 菜々子（函館五稜郭病院リハビリテーション科） 職種：理学療法士

〔その他の領域〕

演題名：回復期リハビリテーション病棟の誤嚥性肺炎患者における ADL 改善の関連因子の検討

筆頭演者名：玉村 悠介（若草第一病院リハビリテーション課） 職種：理学療法士

第 5 号議案 2024 年度事業報告〔報告事項〕

① 2024 年度事業報告

議長の指名により、事務局から、資料 14 頁以下に記載の 2024 年度の事業報告がなされ、学術集会・支部学術集会の開催や学会誌の発行等が報告された。

② 会員数の推移状況

議長の指名により、事務局から、資料 17～19 頁にかけて職種別・支部別・都道府県別の会員

数について報告があった。2024 年度も過年度からの継続した新規入会者数の伸び悩みもあって 3,980 名になり、ピーク時（2018 年度）より 572 名の減少、前年度より 120 名の減少となったことが報告された。

第 6 号議案 2024 年度決算報告〔報告事項・審議事項〕

議長の指名により、資料 20 頁以下に記載の決算報告で内容の詳細について、権財務委員長欠席のため事務局より説明があった。2024 年度は、第 34 回学術集会で収支を確保しスキルアップセミナーその他の行事や支部学術集会でも黒字を計上したことに加え、経費節減効果もあり、前年度よりは 510 万円下回ったものの 1,056 万円の当期経常増減額（いわゆる余剰金）となった旨の報告があった。続いて長谷川監事より監査報告があり、本会に諮った結果 2024 年度決算は承認された。

第 7・8 号議案 2025 年度事業計画ならびに修正予算（案）〔報告事項〕

議長の指名により、事務局から、資料 28 頁以下の記載に基づいて先刻開催の理事会で承認された 2025 年度事業計画案、2025 年度修正予算について報告がなされた。2025 年度については、会員減による正会員受取会費の減少やマニュアル事業費等で支出を見込むため、経常増減額 1,253 万円のマイナス（いわゆる赤字）予算となる旨が報告された。

第 9 号議案 名誉会員・功労会員候補について〔審議事項〕

＜2025 年度＞

名誉会員候補：関東支部 一和多 俊男、桑平 一郎（以上 2 名）

功労会員候補：東北支部 高橋 仁美

関東支部 石塚 全、大石 修司

東海支部 近藤 康博

近畿支部 石川 朗

中国・四国支部 阿部 聖裕（以上 6 名）（敬称略）

上記の名誉会員・功労会員候補について、審議の結果、満場一致にて承認可決された。

第 10 号議案 理事会報告〔報告事項〕

議長の指名により事務局より、資料 34 頁記載に基づき、昨年 11 月 14 日開催ならびに本年 8 月 23 日開催の理事会での審議結果について説明があり、すべての審議議案で承認可決されたとの報告があった。

第 11 号議案 各種委員会報告〔報告事項〕

① 総務委員会報告

黒澤委員長より、資料 35 頁記載に基づき報告があった。第 39 回学術集会会長に川山智隆先生を推薦したこと、名誉会員・功労会員については第 9 号議案で付議した 8 名の先生方の推薦を決定したこと、2026 年実施の代議員・理事選挙の選挙管理委員長として権寧博先生を推薦したこと。

② 将来計画委員会報告

竹川委員長より、資料 36 頁以下に記載の報告がなされた。6 月開催された委員会で今後の方針を決定し、職種別部会（臨床工学技士部会、セラピスト部会（PT,ST,OT）、看護師部会、薬剤師部会、医師部会、管理栄養士部会）を設け、具体的な活動計画を策定した。また、支部会の活性化や、医療ケアのフォーマット作成なども今後進めていくとの報告がなされた。

③ 財務委員会報告

権財務委員長欠席により、事務局より、資料 39 頁以下の記載に基づき、7 月 1 日開催の委員会審議を踏まえて説明があった。

1. 第 34 回学術集会収支決算について

参加者は 2,378 名、68,516 千円の収入で 4,521 千円のプラスとなった。

2. 第 35 回学術集会収支予算について

参加想定者は前年度より少なく見積もって 2,154 名、収入予想は 63,515 千円を計上し、2,715 千円の余剰金を見込む。

3. 2025 年度予算案について

2024 年度実績見込：収入 144,704 千円、支出 134,641 千円、経常増減額 10,063 千円

2025 年度予算：収入 137,596 千円、支出 150,076 千円、経常増減額△12,480 千円

会費収入は、会員数 4,000 名を下回り、39,000 千円を想定。学術集会収支や支部学術集会、研修会等との合算収支ではブラマイゼロ、マニュアル作成費では呼吸リハ手技マニュアルの繰越しや呼吸ケア指導士で掲示板関連の費用を計上、職員 1 名を年度途中での採用、通信環境整備関連のリース費用の計上もあり、2025 年度全体では赤字を想定する。35 回学術集会ならびに 2025 年度予算について、満場一致で承認された。

4. 会議・行事等に係る諸費用基準について（資料 40・41 頁）

交通費、宿泊費、飲食費、日当について最近の経済情勢や学会の財政事情を勘案して基準の改定を提案し、承認された。

5. 支部における学術集会・実技講習の運営について（資料 42 頁）

学術集会、支部学術集会に係る参加料の一部改定や参加証明書の発行について、本部学術集会では、大学院生はこれまで通り 5,000 円を据え置き、学生（含む専門学校生）は無料とすることが承認された。参加料負担のない学生からの参加証明発行については、請求があった場合に対応することになった。また、支部学術集会または単独開催時の実技講習に係る追加補助金の支給については、実施済 3 支部の会員参加率の低迷を踏まえ、当面見合わせる事が了承された。

④ 編集委員会報告

中野委員長より資料 43 頁以下に記載の審議・報告について説明があった。

1. 第 1 回最優秀論文賞の選考について：資料記載の候補者・三木啓資氏を理事会審議にて受賞者に決定した。

2. 学術集会「編集委員会企画」セッションについては、2025 年開催 35 回から実施する。

3. 最優秀論文賞申し合わせの改定案について原案通り理事会で承認された。

4. 査読者への上級呼吸ケア指導士単位について、2025 年 3 月末で 66 名に付与した。

5. 質的研究の論文投稿について：代議員アンケートに質的研究の査読可否を追加した。

6. 用語集について：学会誌 34-3 号に第 7 版を掲載。

7. 論文審査状況：資料に記載の通り。

8. 掲載論文内訳：2024 年度は学会誌 33-1～3 合併号、34-1～3 号、34-Suppl 号を発行。
34-3 号では 2023 年度の査読協力者氏名を掲載。

9. 転載許諾申請報告：許諾料収益は昨年度より 266 万円増の 365 万円。

⑤ 呼吸リハビリテーション委員会報告

神津委員長より、資料 50 頁以下に基づき、2024 年度事業として以下の報告がなされた。

1. 第 17 回呼吸リハビリテーション研修会（会長：髻谷先生）は、2024 年 9 月 28 日千葉県浦安市/順天堂大学浦安キャンパスにて開催。シミュレーション教育推進委員会との共同開催。参加者 50 名

2. 呼吸不全に関する在宅ケア白書 2024 について

日本呼吸器学会、日本呼吸器財団、厚労省研究班と共同で、日本医師会後援のもと作成・出版した。作成にあたり患者団体、産業・医療ガス協会の協力も得た。

HP への掲載（ダウンロード可）、冊子も準備、関係機関への配布も視野に、自治体・保健所等への配布可能者は事務局へ連絡要。

3. 呼吸リハビリテーションに関するステートメント 2025 について

本学会、日本呼吸理学療学会、日本呼吸器学会で WG を組成。定義の改訂、図表の改定、白書データの挿入他、改定作業を 4 回実施。34 回学術集会でシンポジウムを報告。35 回学術集会で特別企画として報告予定。

また、2025 年度事業計画として、以下の報告があった。

1. 第 18 回呼吸リハビリテーション研修会：会長、会期、開催地など今後検討。
2. 呼吸リハビリテーションに関するステートメント 2026 について：2025 年中に出版予定
3. 呼吸器疾患患者のセルフマネジメント支援マニュアルのアップデート
：Web 版のアップデート（2025 年度にステートメントを反映させて出版予定）

⑥ 診療報酬適正化委員会報告

堀江委員長より、資料 52 頁以下に記載の報告がなされた。

1. 2024 年度の主な活動として、2026 年度診療報酬改定に向けて、提案書の作成に関連して領域別会議、内保連ヒアリングを経て厚労省に提出、厚労省ヒアリングでは 2 提案について説明を行った。
2. 2026 年度の診療報酬改定では、主学会提案としては未収載 5 件、既収載 4 件、共同学会として提案は未収載 3 件、既収載 7 件を提案した。
3. 呼吸不全緩和ケア検討委員会と連携して、公知申請に向けた活動を進めている旨の説明があった。
4. 医療の質特別賞については資料記載のスケジュールで進行中。
5. RST プロジェクトについては、登録施設の伸び悩みと各施設での問題意識の高まりで認知度の向上が図られたことから一旦プロジェクトを終了したことが報告された。（資料：54～55 頁参照）
6. 今後のスケジュールとして、内保連関連会議への参加、本委員会の開催、厚労省陳情訪問、学会声明の発信、公知申請手続き推進、他学会との調整などを進めていく。

⑦ 呼吸不全緩和ケア検討委員会報告

津田委員長より、資料 57 頁以下に記載の報告がなされた。緩和ケア診療体制の遅れが腎不全で話題になったことを受けて、呼吸不全についても注目が集まり、昨年から本年にかけて診療報酬適正化委員会との合同会議を開催。また内保連呼吸器関連委員会で 3 学会の調整会議を開催して緩和ケアについて診療報酬改定を目指すことが確認された。

・厚生労働省への説明

本年 4 月から 7 月にかけて、保健局医療課、健康局、健康生活局がん・疾病対策課、医薬品局を訪問し、オピオイド薬の公知申請に向けて陳情ならびに情報収集を行った。

10 月 27 日に、患者会と JRS とともに厚労省に陳情訪問する予定。

・関連学会との連携

在宅医療連合学会とのシンポジウム開催、緩和医療学会からの査読協力等の連携強化。

・非がん性呼吸器疾患緩和ケア研修プログラム委員会を短期委員会として立ち上げの提案 研修プログラム立案、作成、学会 HP への掲載などを検討する

・学会声明の発信

「非がん性呼吸器疾患に対する緩和ケアの重要性について」が 8 月の理事会で承認された。

⑧ 広報委員会報告

福家委員長より、資料 60 頁に記載の報告がなされた。

2024 年度の活動実績

- ・ホームページ（以下 HP）の掲載コンテンツの検討
- ・SNS 導入の検討として、運用方針案などを検討中
- ・e ラーニングコンテンツの管理について、資料記載の通り、医学教育事業検討委員会から管理を移管済み。コンテンツ配信費用 462 千円（税込）。コンテンツの内容確認について呼吸リハビリテーション委員会に依頼済
- ・国際学会参加の道のりの解説～看護師向け～を HP に掲載

2025 年度の活動計画

- ・ホームページ（以下 HP）の掲載コンテンツの検討
- ・呼吸ケア指導士掲示板の設置

⑨ 呼吸ケア指導士認定委員会報告

大平委員長より、資料 61 頁以下に記載の報告がなされた。

1. 2025 年呼吸ケア指導士認定(更新)について、資料記載の上級 4 名、(初級) 122 名を認定。
2. 2025 年呼吸ケア指導士認定(初回)について、資料記載の上級 7 名、(初級) 50 名が 8 月の理事会で承認された。
3. スキルアップセミナー実技コースの増点について、呼吸ケア指導士認定要件として実技スキル習得に重点を置くため、本年 10 月の第 12 回セミナーからの実施が提案され、8 月理事会で承認された。
4. 呼吸ケア指導士のアンケート調査について、結果を学会誌に投稿済。
5. 初級呼吸ケア指導士の名称変更について、2024 年 9 月 1 日付けで初級ケア指導士の初級を名称から削除。上級は変更なし。
6. 呼吸ケア指導士掲示板の新設について、昨年 11 月開催の理事会で承認済。2025 年 10 月 16 日「呼吸の森」として公開した。掲示板仕様・名称公募、サポートチーム組成等を報告、初年度予算を計上済み。
7. 35 回学術集会での呼吸ケア指導士ラウンジを設置し、「ワールドカフェ」セッションとして 3 テーマを企画済。
8. 呼吸ケア指導士認定制度・細則の改定：スキルアップセミナー実技コース単位増点、掲示板サポートチームメンバーへの上級単位付与等の改定案が 8 月の理事会で承認された。
9. 呼吸ケアスキルアップセミナー実行委員会との連携について、指導士掲示板で、セミナーの講義動画視聴を検討中。
10. 認定講習会の Web 開催状況、2024 年度 18 件を認定済。
11. 学会誌査読者への単位付与について、2025 年 3 月末に上級単位を付与。
12. 2026 年呼吸ケア指導士更新認定について、11 月より申請受付開始（2020・2021 年認定者対象）
13. 2025 年度は多職種が上級指導士を目指せる仕組みづくりを検討予定。

⑩ 呼吸ケアスキルアップセミナー実行委員会報告

桂委員長より、資料 76 頁以下に記載の報告がなされた。

1. 第 11 回呼吸ケア指導スキルアップセミナーは、2024 年 11 月 14 日に名古屋国際会議場と Web 併用で開催。座学は Web のみ、実技は現地会場で、参加登録者は 741 名。収支は 13 万 4 千円の黒字。
2. 第 12 回は本年開催の第 35 回学術集会と同会場の朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター（新潟市）で 10 月 23 日（木）に開催。会場+Web のハイブリッド形式。
3. 第 8 回セミナー講演要旨を学会誌 34-1 号に掲載。
4. セミナーのライブラリー化について、座学コース（オンデマンド配信）の指導士掲示板内で

の視聴を検討中。著作権配慮の観点から最新回の座学コースを配信期間延長する形で今後検討する。

⑪ 倫理・COI（利益相反）委員会報告

花岡委員長より、資料 87 頁記載の報告がなされた。

（2024 年度報告）

1. 役員・特定委員会委員の COI 申告内容の確認実施。
2. 自施設に倫理審査委員会がなく承認が得られない発表については、2024 年を含めて 3 年間の猶予期間を設けて受け付けることが、前回理事会で決定され 2026 年開催の学術集会演題登録まで実施中。

（2025 年度計画）

1. 役員・特定委員会委員の COI 申告内容の確認（10 月 8 日開催の委員会で確認済）
2. 学術集集会演題登録時の研究倫理報告等申告の継続（3 年猶予期間の 2 年目）

⑫ 国際化委員会報告

川山委員長より、資料 88 頁以下に記載の報告がなされた。

＜事業報告（2024 年 9 月 1 日～2025 年 8 月 31 日）＞

1. 理学療法士向け国際学会参加への道のり動画の作成を依頼済み
2. 国際学会参加動画やまとめについてホームページ掲載を検討
3. 国際化委員およびプログラム委員兼務の委員から学術集会での国際的演題や演者の推薦を行う。

①英語発表のセッション開設の依頼、②海外演者との座談会企画

4. 海外のリハビリテーション紹介動画の収集の検討

①動画配信著作権買取 ②スマホ撮影動画（和訳差し込み） ③委員の知人からの入手

⑬ 禁煙推進委員会報告

仲村委員長より、資料 91 頁に記載の報告がなされた。

1. 昨期（黒澤委員長）迄の活動実績として、禁煙宣言の公開、タバコ関連企業からの資金受入れ自粛、呼吸ケア指導士規則での非喫煙者規定化、呼吸器疾患患者のセルフマネジメント支援マニュアルの禁煙項目の執筆、禁煙推進学術ネットワークに加盟したこと。
2. 禁煙推進学術ネットワーク関連では、10/14 開催の定例会議について報告があったこと、改正健康増進法見直しについての要望書への参加を決定した（理事会メール審議済み）との報告がなされた。
3. 活動実績（2024 年度）
 - 1) 各職種用ポケットガイド(仮称)を作成中
 - 2) 禁煙宣言を改定（加熱式タバコ、受動喫煙関連事項を盛込済）
 - 3) 地域での禁煙ニーズを探るアンケートの実施/倫理審査承認に向けて
4. 活動計画（2025 年度）
 - 1) 改定した禁煙宣言の公開
 - 2) 地域での禁煙ニーズを探るアンケートの実施
 - 3) 各職種用ポケットガイド(仮称)作成継続

⑭ シミュレーション教育推進委員会報告

植木委員長より、資料 94 頁以下に記載の報告がなされた。

（2024 年度報告）

第 1 回開催は呼吸リハビリテーション委員会と合同開催
開催日：2024 年 9 月 28 日（土）13：15～16：50

(2025 年度計画)

1. 第 2 回研修会：本委員会単独開催、

2025 年 12 月 6 日（土）13:15～16：50 順天堂大学浦安キャンパス

（事務局注：本会開催日は 2026 年 3 月 7 日（土）に変更された）

募集人員：50 名

講演 1.呼吸不全・心不全のフィジカルアセスメント

講演 2.人工呼吸管理と人工呼吸器関連肺炎（VAP）予防バンドル

演習:High-fidelity simulator manikin を用いた演習（入門編）とデブリーフィング

2. 同領域に経験、興味のある会員のリクルート、メンバー増員

⑮ 呼吸リハ手技マニュアル作成委員会（短期）

神津委員長より資料 96 頁に記載の報告があった。

マニュアル構成として、呼吸障害のフィジカルアセスメント、コンディショニング：徒手呼吸助法にて、呼吸ケアカンファレンスで作成したテキストをベースとして編集作業を進行中。会議を 3 回開催。予算案も固め 2024 年度予算で承認済み。

暫定版はほぼ完成。年内には完成予定。

⑯ 呼吸リハビリテーション施設委員会（短期）【資料未記載】

黒澤委員長より、8 月開催の理事会で設置を承認された本委員会の活動目的等

について報告があった。過去に掲載していた呼吸リハビリテーション実施施設について、再度の掲載に向けて内容の充実を図る必要がある。この活動実施に向けて、各支部長、広報委員会、呼吸リハビリテーション委員会からの委員推薦を依頼した。

第 12 号議案 2026 年代議員選挙および理事選挙について

議長の指名により、事務局より資料 96 頁記載の来年実施の代議員・理事選挙について、スケジュール等の説明があった。

第 13 号議案 その他について

特になし

以上を以て、すべての審議は終了した。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第 23 条第 2 項に基づき、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

2025 年 10 月 23 日

一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
定時代議員総会

議 長 黒澤 一 印

議事録署名人 桂 秀樹 印